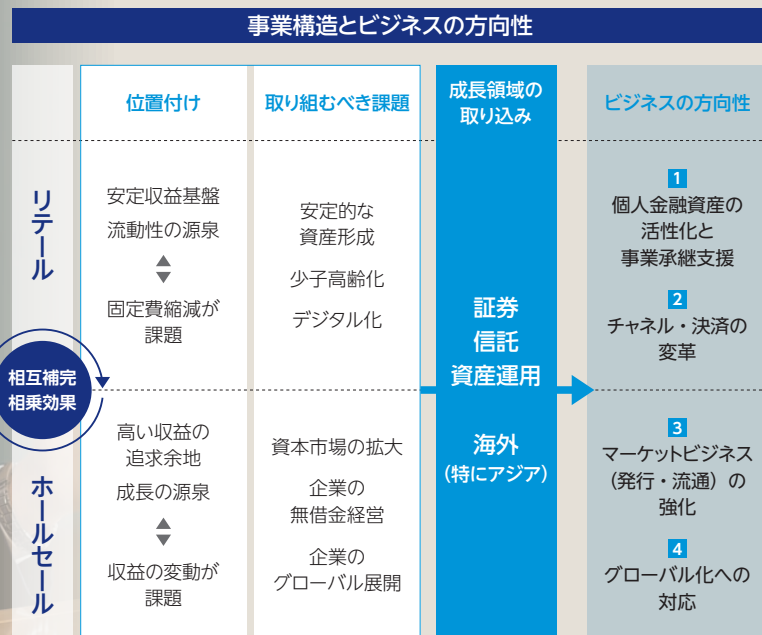


Q4 >> 中長期的な企業価値の増大に向けて、どのような取り組みをされているのですか？

A 中長期的な成長性を組み込んだ強靱な事業構造を

■ 強靱な事業構造の構築



〈みずほ〉が、一上場企業として株主の皆さまの高い期待に応えていくためには、「安定収益基盤」のうえに、「高い収益が期待できる分野」を組み合わせるとともに、その双方に中長期的な成長性を組み込んでいく必要があります。

「安定収益基盤」であるリテール事業と「高い収益が期待できる分野」であるホールセール事業は相互に補完性が高いだけでなく関連性も強く、連携を強化することで、相乗効果を創出してまいります。そして、その双方において、成長領域、すなわち、証券・信託・資産運用ビジネスや、海外ビジネス、特に、アジアの成長を取り込んでまいります。

構築するとともに、10年後を見据えた抜本的構造改革に取り組んでまいります。

■ 抜本的構造改革への取り組み

金融機関を取り巻く環境は厳しい状況が継続するとともに、大きな構造変化が予想されています。こうした環境のなか、〈みずほ〉は、金融の枠を超えた他社との協働による新たなビジネス機会の創出も含めた収益の増強を図るとともに、組織・人員の最適化やチャンネルの再構築等にも取り組み、コスト競争力や生産性の向上を図ることで、「One MIZUHO戦略」のさらなる進化を目指してまいります。

本年度は、抜本的構造改革の起点ともなる重要な経営基盤である次期システムへの移行を、最重要の経営課題と位置づけて取り組んでおります。現在のところ移行は滞りなく進んでおり、今後も安全・着実な移行を進めてまいります。

スケジュール(新システムへの移行日)

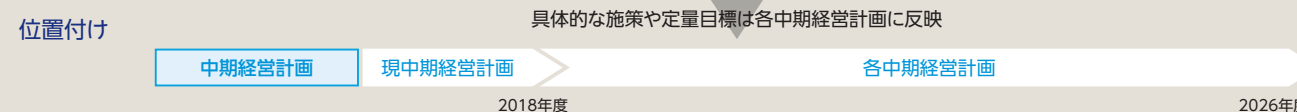
第1回	2018年6月11日(月)	完	第6回	2018年12月17日(月)
第2回	2018年7月17日(火)	完	第7回	2019年1月15日(火)
第3回	2018年9月10日(月)	完	第8回	2019年2月12日(火)
第4回	2018年10月9日(火)	完	第9回	2019年度上期
第5回	2018年11月12日(月)	完		

抜本的構造改革の全体感

目指すべき方向性	テクノロジーの活用	他社連携等のオープンな取り組み	グローバルな視点
----------	-----------	-----------------	----------

〈みずほ〉の目指す姿(“総合金融コンサルティンググループ”)とOne MIZUHO戦略は不変

抜本的構造改革: 10年後を見据えたグループの持続的成長と将来の競争優位性の確保に向けた不断の取り組み



1 組織・人員の最適化	2 システム構造改革	3 チャンネルの再構築	4 収益力の強化
<ul style="list-style-type: none"> ● 戦略に整合した人員のスリム化 ● フロント人員の質・量の向上 ● テクノロジー活用による業務プロセス改革 	<ul style="list-style-type: none"> ● ITシステム一元化・集約 ● 次期システム導入によるIT基盤強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハブ&スポーク体制を踏まえた国内拠点の統廃合・共同店舗化 ● 次世代の金融を展望した、テクノロジー活用による対面・非対面チャンネルの構築とお客さまの利便性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 粗利の構造改革 ● 現場負担の軽減と質量両面でのフロント人材の拡充 ● 業務運営の見直し



抜本的構造改革の詳細は、当社HPでご覧いただけます

みずほ 抜本的構造改革

検索